

題材名「ネット社会の安全性について」

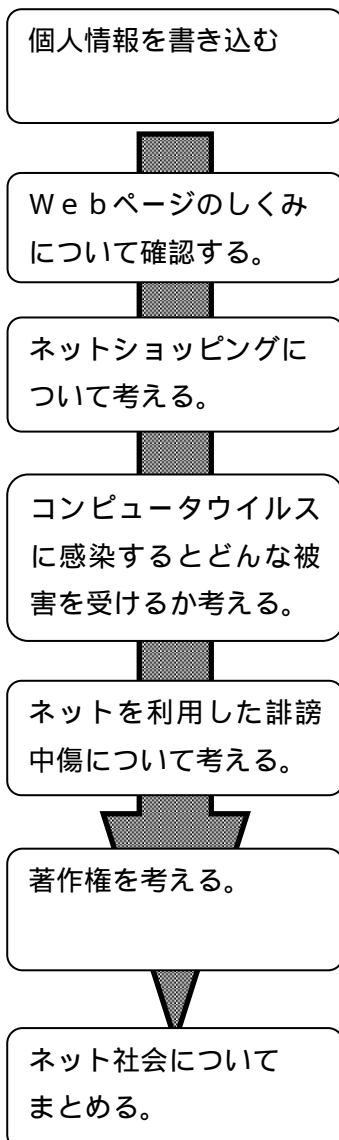
目 標

情報化社会で自分と他者をどのように守るか。
ネット社会との関わり方について考えさせる。

コンピュータを活用する利点

入学してくるほとんどの生徒の家庭には、コンピュータがありインターネットの利用ができる。
また、大半の生徒がケータイを持ちメールを使用していると思われる。早い段階からネット社会の危険性と問題点を知り、マナーを身につけさせ適切なコミュニケーションを意識した情報発信に対する責任能力を養わせたい。

授業の流れ



ICT 活用場面

「何をしてはいけないのか」「なぜ、その行動が良くないのか」「どのような行動を取るべきなのか」を理解する。
資格取得に関連した情報技術知識はあるものの、情報モラルを主とした学習をしていなかった。

成果と課題

便利さばかり先行していたが、この学習をとおしてネット社会の裏側の存在に気づき、コンピュータの向こう側には人がいることを確認し、情報発信に責任を持つ意識を高められた。

ICT 活用環境等

使用周辺機器	デスクトップパソコン 41 台、プロジェクター
使用ソフト名	C Dフリーソフト
使用教室	情報科学科棟 2 F データ作成室